

三部 街歩き

初めて入った東大、広さにビックリ！ さすが財閥の元お屋敷、豪華さに唖然！



東大の象徴的建物・安田講堂前で

三部学習街歩きは6月29日に行われました。当日は朝から小雨が降る悪条件でしたが、久しぶりに参加した人や友人を誘った方など26人と近年最高の参加となりました。

今年の街歩きは東京大学構内散策から旧岩崎邸庭園、不忍池までのコースで、とくに東大構内は多くの参加者にとっては初めての経験だったようです。

赤門前を集合場所に元東大生協の常務だった内山さんの案内で構内を散策した一同は、都心にもかかわらず、その広さと静かな佇まいに、時代を感じさせる校舎が並んでいることに感心しました。

旧岩崎邸庭園は洋館が外壁修復工事中でしたが、建物の中はさすがに財閥のお屋敷を思わせるもので、洋館と和館、ビリヤード室を散策しました。また、お茶室で休憩をする人もいました。

最後に予定していた下町風

千代田
区職労

退職者会ニュース

第2019-5号
19年7月1日
退職者会
ニュース
編集委員会
3221-0052

東京大学本郷キャンパスは江戸時代の加賀藩前田家の上屋敷があった所、赤門は国の重要文化財。三四郎池は夏目漱石の「三四郎」にこの池が出てくるのにちなんで呼ばれています。とにかく広いのに驚き…。

退職者会長の音頭で乾杯し歓談になりました。

懇談の合間には東大散策にちなんで、ナレーターの小川真紀子さんによる「三四郎」の朗読も行われ、3人の参加者から近況なども披露されて楽しい時間を過ごしました。

懇親会では「PTSDの復員日本兵と暮らした家族が語り合う会代表」の黒井秋夫さんを招いての学習のあと、山岸

俗史料館は時間の都合で見送ることになりました。

旧岩崎邸は岩崎彌太郎の長男・久彌の本邸として建てられ今は国の重要文化財。ニコライ堂を設計したジョサイア・コンドル設計で、洋館の装飾、ベランダの列柱とタイル、金唐革紙と呼ばれる壁紙など見どころがいっぱい。

秋の一泊旅行会（三部旅行） 日程 行先 決まる

熱海のサービス付き高齢者向け住宅 見学

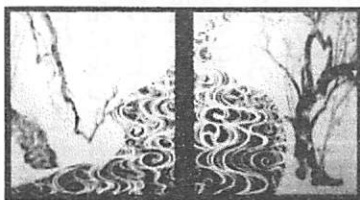
10月6日(日) 7日(月) 箱根・伊豆方面

今年の秋の三部一泊旅行は、熱海にあるサービス付き高齢者向け住宅を見学しながら、周辺の箱根・伊豆を周遊する企画となりました。宿泊は熱海です。

箱根や熱海伊豆は若い頃からさんざん訪れた、という方も多いでしょう。でも案外、そういえば最近熱海に泊まったことがないなあ、という方がいます。久しぶりに熱海の湯に浸ってみましょう。

そして二日目は網代にある高齢者向け住宅施設「中銀ライフケア南熱海」を見学し、これからの暮らしの一つの選択肢ともいえるリゾート地での老後の生活を考えることにしました。興味のある方、この機会にぜひ参加してみてください。

そのほか二日間で、国宝が見られる「MOA美術館」や「アカオローズ&ハーブガーデン」、「箱根湿性花園」などを訪ねる予定です。



MOA美術館 国宝「紅梅白梅図屏風」



旧岩崎邸洋館の前で あいにく建物左側の外壁は工事中

初めて訪ねた東大構内と旧岩崎邸

小路 啓子



小雨降る中、三部合同学習街歩きにボランティア仲間の友人と二人で参加しました。

東京大学構内は、生協の内山さんにご案内いただき、あの広大な構内を効率的に見学することが出来ました。

生まれた時から東京に住んでいるのに、東京大学赤門を間近で見るのも、東大赤門の正式名称が「旧加賀屋敷御守殿門」であることも初めて知り、改めて歴史の重みを感じました。

「三四郎池」は、都心とは思えない程自然豊かな緑に囲まれ、心身共に癒されました。

安田講堂では、1968年の東大紛争で火炎瓶等で傷ついた石の正門を実際に見て、触れて複雑な気持ちになりました。

また、旧岩崎邸では、洋館の外壁等修復工事中で美しい建物を見ることが出来ず残念でしたが、刺繍を施した天井や皮に装飾された貴重な金唐皮紙の壁紙等、重厚でありながら贅を尽くした内装が素晴らしかったです。

和館では、美味しいお抹茶と和菓子でほっと一息。

友人とまた紅葉の頃に訪れたいね、と話しました。

懇親会会場までの道のり、不忍池の蓮の花を觀賞しながら久しぶりのんびり散策。下町風俗資料館見学の時間は、なくなりましたが、大満足の街歩きでした。

懇親会にも参加して、学習会「PTSDについて考えよう」講師の黒井秋夫さんの話に感動し、小川真紀子さんの朗読「三四郎」を聞きながら、遠い昔に読んだ小説を思い出し、懐かしい気持ちになりました。



友人も、勉強にもなりとても楽しかったと喜んでいました。

三部合同街歩きを企画担当された方々に感謝…ありがとうございました。来年も期待しています。

**五、六月の国会行動等に延べ二五人が参加
九条改憲NO！
頑張る退職者会**

退職者会は、5月から6月にかけても、国会周辺の諸行動などに積極的に参加してきました。

5月19日は毎月19日に行われている「19日行動」、この日は「安倍9条改憲NO！憲法審査会に自民党改憲案を提示させるな！」をスローガンに議員会館前に集まりました。

5月25日は「止めよう
田平和集会」が開催されました。これら4回の行動に退職者会から延べ25人が参加しました。

6月19日は45回目となる「19日行動」が取り組まれました。また、6月30日には千代田春闘共闘の主催する「千代田平和集会」が開催されました。

5月25日、辺野古新基地NO！国会包囲行動



第28回千代田平和集会に参加して

西本 由起子

第28回千代田平和集会(5/30)に参加しました。千代田区職労の小林秀治さんが、実行委員長として挨拶をしました。ヘソレイユの素敵な合唱もありました。講演は、精神科医の香山リカさん。テーマは、「平和と民主主義の敵としての9条改憲にしがみつこう生き方」副題として「精神科医の私が、なぜ平和・憲法・人権を語るのか」

講演の中で香山さんは、政府は、皇室を政治利用し令和の時代になれば、全てがリセットされ素晴らしいことが起こるというかりそめのファンタジーを人々に信じ込ませようとしています。令和に成っても平成の続き、なにも変わりませんよね。そして改憲も同じ様に改憲すれば全てがよくなると思いきませようとして、これもかりそめのファンタジーです。安倍に取り込まれずに改憲を阻止しなければならぬと思います。それには、心身共に健康、正気を保ちおかしいと思う気持ちを持つことが、大切だと考えます。皆さん、無理をせずに闘ってください。と締めくくりました。

千代田平和集会で歌う合唱団「ソレイユ」

お話のテーマに行き着くことは、私には、ちよつと難しかったかなと思いつつも大変興味深く聞かせていただきました。

今年度年金額0.1%の改定 自動削減装置「マクロ経済スライド」の廃止を！

先月(6月)、「年金額・支給額変更通知書」が届きました。

しょうか？

同時に、東京都共済組合から「年金だより6月号」も届いたと思います。それによれば、今年度の年金額が0.1%引き上げられた、とあります。

国会での党首討論では、安倍首相が年金を0.1%上げたこと自慢げに胸を張って野党に反論しました。0.1%の引き上げは自慢できるような内容なので

6月7日、自民党は参議院選挙公約を発表しました。このなかで重点項目の一つとして掲げた「憲法改正」では、党憲法改正推進本部が「条文イメージ」として昨年まとめた(1)自衛隊の明記(2)緊急事態対応(3)合区解消・地方公共団体(4)教育充実の4項目を列挙し、改憲施行を目指す時期を「早期」としています。

そこで自民党の改憲4項目を改めて見てみましょう。

(1) 自衛隊の明記は、現行憲法の9条1項・2項をそのままにして9条の2として自衛隊を明記するとしています。自民党は9条の解釈は変わらないとしています。そんなことはありません。条文案では9条2項の後に、「前条の規定は、……自衛の措置をとることを妨げず」としており9条の制約が自衛隊に及ばなくなってしまうのです。さらに条文案では「内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊」となっており、秘密保護法の制定や安保法制Ⅱ戦争法の強行など、憲法破壊を続けてきた安倍政権の元では自衛隊が手を振って、海外でアメリカの起こす戦争に参加することになりかねません。

自民党改憲4項目の欺瞞

西本 優

さらに条例案では64条の2として緊急事態を名目に国会議員の「任期の特例を定めることができる」としています。しかし、近年でも極めて大規模な地震に見舞われましたが「日本全土」で選挙ができない事態が生じたことはなく、政治家が都合良く緊急事態を利用するような事態を招きかねません。

(3) 合区解消については、憲法を変えなくても合区をやめることはできます。改憲をいう前にどういう方法が可能か検討すべきです。条文案では47条の選挙区を「人口を基本とし、行政区画、地域的な一体性、地勢等を総合的に勘案」して定めるとしていますが、国の法律を制定する国会議員を都道府県単位で選ばなければいけない理由などなく、むしろ人口比例という投票価値の平等の意義を弱め、較差を広げることになりかねません。地方公共団体については条文案92条では「地方公共団体は基礎的な地方公共団体及びこれを包括する広域の地方公共団体」と2段階制とすることとしています。しかし、それぞれの地方公共団体の規定が明記されず道州制へ道を開く可能性もあるといわれています。

(4) 教育充実についても憲法を変えなくても教育の無償化などは法律や政府の施策でいくらかでもできることです。現行憲法26条は戦前の教育を反省し、教育を国民の側から権利として据え直したものです。条文案は26条の③として「国の未来を切り開く上で極めて重要」として教育の整備をうたっており、教育への国家介入が憲法上正当化される可能性があるといえるのです。

今必要なのは改憲ではなく憲法をくらしに生かすこと。そのことに確信をもって自民党の野望を包圍していきましょう。



城直ゆう子区職労委員長(退職者会相談役)から怒りの投稿

95歳まで生きるとして「夫婦で年金の不足額2000万円」とした金融庁の報告書に愕然とし、報告書の受け取り拒否することで現実逃避した麻生財務・金融相の無責任ぶりに、今の年金制度の限界が見えてきました。

昨年秋に夫の母(82歳)が脳梗塞で倒れ、意識不明のまま療養型医療施設に入院中です。国民年金額月10万円に満たない母の年金ではこの施設への支払いが不足し、やりくりして支払った生命保険金や預貯金はもうすぐ底をつきます。まさに年金不足問題が現実化している状況です。「葬式代は用意してあるよ」「あんたたちの迷惑かけないよう死ぬその日まで自分のことは自分で」できるよう毎日農作業と散歩を欠かなかった義母が今どんな思いで病床にあるのかと思うと切なくなります。義母に20年後の私たちを見ているようです。

わが子は年金不信で、自分で年金を支払う意思はなく部屋代と称して徴収する3万円で私がかわりに払っている状況です。退職後「子からのお小遣いで遊ぶ」予定だったのに生活費等持ち出しが現実です。

どの世代も生活ぎりぎりです。2000万円の貯金はもちろん投資なんて非現実的なことをお国が言うのではなく、暮らせる年金支給額にする制度へ充実させる政策を早く打ち出してほしい。私たちにはそのお財布(財源)がちゃんと見えてますからね。

年金不足で日本中に怒りがまん延

を減じて結局0.61(引く)0.210・3110・1%だけの引き上げとなってしまうことが書かれています。安倍首相はこの0.1%を自慢げに語ったのです。本来なら物価変動に合わせて1.0%引き上げるべき年金のその9割をピンはねる、これが今の政権がやってきた年金改悪です。

今こそ、マクロ経済スライドの廃止を求めていかなければなりません。その機会は今月行われる参院選にあると言えます。

年金不足で日本中に怒りがまん延

マクロ経済スライドという、「年金の自動削減装置」が続く限り、年金は毎年確実に減らされていきます。そうして減らされる額は将来的に7兆円に上ることが安倍首相の口から明らかとなっており、その分だけ私たち受給者が貧困化していくことを物語っています。

松

防衛省の無茶ぶりが目立つね。安倍政権下で急に態度がでかくなって国民をなめてるようを感じるよ。戦争へ突っ走った旧日本軍を思い出す先輩年寄りもいると聞く…。

テツ

全くだ。秋田市に配備しようとして、いるイージスアショアを巡って、地元住民はカンカンに怒っている。

松

うん、秋田市の新屋地区以外の候補地はすべて不適だと説明してきたのに、不適としたデータがでたらめだったわけだ。初めから新屋と決めていて、他の候補地が不適だという理由をでっち上げたんじゃないかと推測してしまふよ。住民が怒るのは当然だよな。

テツ

このほかにも住民を騙した問題が次々と明らかになってるんだ。沖縄の宮古島に住民の反対を押し切って自衛隊基地を作ったことは知っているね。防衛省は地元説明会で「保管庫」と言ってきたのにできてみたら「弾薬庫」だった…。宮古島民は「だまし討ち」だと批判が噴き出しているよ。

松

日本の最西端の与那国島でも、住民投票でわずかの差で自衛隊誘致を決めたけど、ここでも「弾薬庫」を「貯蔵庫」と説明したね。「弾薬庫」と知っていたら住民投票の結果も変わっていたかもしれない、と悔しがっている島民もいる…。

テツ

とにかく住民の心配や反対を呼びそうな、防衛省にとって都合なことは隠す、そのために住民を騙す。だけどこんな姑息なことでも騙せると思っていること自体が、問答無用の傲慢さの表れだ。

松

不都合な「日報」を存在しないと行って国会を欺こうとしたぐらいだから、この隠ぺい体質は根深いと思うよ。

テツ

そういつて済ませられないのが、防衛省は

松とテツ

ウソつき防衛省と 壮大な無駄遣い

松

戦争と直接つながっている組織だということだよ。国民を騙すのが常套手段の防衛省。自衛隊ということになれば、国民は知らない間にいつ戦争に巻き込まれるか分からない…。

松

安倍政権が画策している憲法9条に自衛隊を書き込むということが、とんでもない危険な問題だと改めて怖くなったよ。

テツ

うん、これは驚きだったね。秋田はハワイ攻撃に備え、山口はグアムに備えた配置とは…。「日本の防衛」という説明自体が大うそということだよ。

松

アメリカの基地を防衛するために、一基1224億円という莫大な税金をつぎ込み、住民に危険なリスクを負わせるなんて。それも、どうやら安倍首相がゴルフなどしながらトランプから押し付けられたものだというから、怒りを通り越してあきれ果ててしまふよ。

テツ

呆れてなんかいられないよ。昨日(6月30日)トランプとキムジョンウンが板門店で電撃会談をやったね。イージスアショアが本当に必要な情勢かどうか、慎重に構える時期だよ。

松

うん、イージスアショアの運用開始は2023年と言うことだから、その頃には「無用の長物」となっているかもね。壮大な無駄遣いを戒める「記念碑」となってしまうだろうよ。

テツ

それにしても高くつきすぎる。

松

「外交の安倍」なんて言っているけど、これほどまでに従属的で売国的な外交はない。おっと、そこまで言うかい。

テツ

ああ、言い足りないほどだよ。君もボーッと生きているとチコちゃんに叱られるぞ。

都退協 囲碁大会

井尻さん・高橋さん 奮戦

恒例の都退協主催囲碁大会が6月14日に板橋グリーンホールで行われ、今回も井尻宥さん、高橋弘さんのお二人が参加しました。

13支部から32人が参加し、B組の井尻さんは3勝1敗で2位に、C組の高橋さんは2勝2敗と奮戦しました。終了後は懇親会が行われました。

真剣な眼差しの井尻さんと高橋さん



脳トレクイズ

都道府県クイズ

「川」か「岡」がつく都道府県名を5つ書きましょう。(答は6ページ)

東京近郊 7月の花めぐり

7月はスイレンやハスなど、水辺で咲く涼感のある花、黄色やオレンジの色鮮やかな花を咲かせるコスモスのキバナコスモス、希少な花オニバスなどの花が見ごろを迎えます。今回は「水元公園」のオニバスと「浜離宮恩賜庭園」のキバナコスモスを紹介します。

水元公園 (葛飾区)

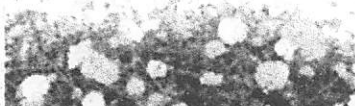
散歩や野鳥観察、釣りなどが楽しめる広大な水辺の公園。都内でも有数のハスの名所でオニバスの見ごろは、7月中旬～8月中旬。

アクセス 千代田線金町駅より京成バス

浜離宮恩賜庭園

江戸時代の代表的な大名庭園。昭和27年に周囲の水面を含めて国の特別名勝、史跡に指定。7月には約30万株のキバナコスモスが咲き誇る。

アクセス JR浜松町駅より
徒歩15分
大江戸線築地市場より徒歩7分他



韓国歴史散歩 (その二)

平山茂さんの投稿による
韓国紀行の2回目です。

「私自身としては、桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫である」と、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じています。武寧王は日本との関係が深く、この時以来、日本に五経博士が代々招へいされるようになりました。また、武寧王の子、聖明王は、日本に仏教を伝えたことで知られております。」

明仁上皇が2001年12月の誕生日の記者会見で、記者からの問いに答えたものです。宮内庁楽部で雅楽を演奏している人の中にも、昔朝鮮半島から移住してきた人の子孫がいることにも触れています。

武寧王は日本の恩人

桓武天皇(737〜806年)の生母が武寧王(462〜523年、ムリョンワン)の子孫であるとする続日本紀(しよくにほんぎ)の記述を史実と考えていいのかはともかくとして、桓武天皇は光仁天皇の第一皇子だったけれど、渡来人の子であつたため皇太子になれず、弟の他戸親王(おさべしんのう)が皇太子となりました。のちに他戸親王が廃され皇位についたいきさつがあります。

武寧王が日本に派遣した五経博士は儒学者で、日本に儒教などを伝えました。子の聖明王は日本に仏教を伝え、親子二代に渡り日本の礎を築くのに惜しみのない援助を頂きました。



武寧王の墓が未盗掘のまま発見されたのは、1971年のことです。墓誌の記述が日本書紀のものと一致したため、武寧王陵と確認されました。

いざ武寧王陵へ

加藤哲夫さんで行った韓国3日目は、宿泊地大田市(テジョンシ)儒城(ユソン)から市外バスに30分ほど乗って公州(コンジユ)に行き、公州から武寧王陵のある宋山里(ソンサルリ)古墳群までは、タクシーで数分です。

古墳群入口からなかなか坂を上って行く、芝で覆われたお椀を伏せたような丸い古墳が円周を重ねるように密集しているのが目に入ります。武寧王陵の入口は扉で塞がれ、中に入ることはできませんが、大きな写真が掲示してあり内部の様子が分かります。「日本がお世話になり、ありがとうございました」と頭をさげ、武寧王に感謝の気持ちを表しました。

古墳群をさらに奥に進んでからもう一度武寧王陵の前まで戻つたら、日本語ができるガイドのオーさんがいました。武寧王陵などのお話を伺い、さらに古墳群模型展示館を案内して頂きました。オーさんから「世界遺産 百濟歴史遺跡地区」の8冊組み日本語ブックレットを特別に頂きました。

棺の木材は日本産

次に別のガイドさんが、国立公州博物館を案内してくれました。こちらは発掘された本物の資料がふんだんに展示されています。武寧王と王妃の木棺の前で、思わず「これ本物ですか?」と声を出しました。「もちろんです(きつぱり)」とお約束の返事です。確かこれで3回目の同じ台詞のやり



武寧王陵の入口で

とりだったと思います。日本固有種のコウヤマキ(高野槇)で作られた木棺は、傷みがあるものの表面が漆塗りで綺麗に仕上げられてあり、大きくて立派な物だったことは、容易に分かります。本物が展示してあると聞いていても、千五百年前の物とは思えない美しく豪華な副葬品の数々を前にすると、つい本物がどうか確認したくなります。

花をムシヤムシヤ

昼食は近くで韓国料理を頂きました。釜飯に肉、食用の花をふんだんに乗せたサラダ、キムチなどなど、野菜が多いヘルシーで美味しい料理を堪能しました。

王様の居城だった、川を見下ろす公山城(コンサンソン)を歩いてから、次の目的地扶余(プヨ)に行くため、タクシーで戻ることになりました。道路脇の公山城観光案内所で、タクシーを呼んで、運転手さんに行き先を告げるのをお願いしました。案内所では、とてもチャイミングな女性が対応してくれました。タクシーに乗り込んだ私たちに、はち切れるような笑顔で、ハチドリ顔負けの素早さで手を振って見送ってくれました。この時以来、ふと気が付くと、心が見当たらない現象が続いています。もしかするとあの時、公州に心を置き忘れてきたのかも知れません。

今回は、武寧王にまつわる取って置きの秘話と、扶余とソウルの報告を予定しています。

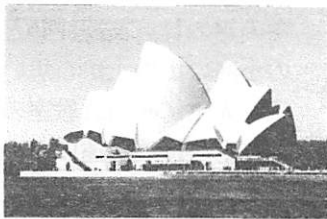


カルチャーショックの旅・オーストラリア

土屋 喜代子

区役所の時の友人が今年3月で全員退職したのを記念に、オーストラリアを旅してきました。

2000年に世界遺産登録されたブルー・マウンテンズのトレッキングは爽快でした。ブルー・マウンテンズはシドニーから車で2時間。4000kmに及ぶ広大なユーカリの森の中にある山脈です。気温が上昇するとユーカリの葉に含まれる油が気化して空気中に広がり、青く霞むことからブルー・マウンテンズと名付けられたそうです。私たちが行った日



は雲一つ無い青空でした。山頂からはスリー・シスターズという巨大な3つの岩が並ぶ峡谷、どこまでも広がるユーカリの森の緑、エアーズロックよりも雄大と思われる岩が一望できました。真っ青な空とユーカリの森の間には、薄青い霞の帯が一面に広がっていました。これで寿命が10年延びたような気がします。

オーストラリアで驚いたのは、物価が日本の2〜3倍と高いこと。なんとペットボトルの水が400円。町のスーパーは7時にはどこも閉まってしまう。飲食店も8時に閉店。地元の人はそれでも暮らしやすいという。定時退社が当たり前、給料は全部使ってしまい貯金はしない。老後は生活できる年金が受け取れるので、生活の心配はないそうです。何と日本と大違い!カルチャーショックの旅となりました。

連載中

「私のふるさと」

—ふるって応募を！—

誰にも「ふるさと」があるのではないでしょう。そこには懐かしい思い出が詰まっていることでしょう。紹介したい風景や文化、忘れられない出来事、なんでも結構です。思いつく話でも構いません。あなたの心に残る「ふるさと」をぜひ紹介してください。

原稿は400字〜800字程度で、手書き原稿の場合は「千代田区職労気付け・退職者会」まで郵送で。メールで送ってもらえる方は、下記アドレスへ。

hattori2@gw7.u-net.ne.jp

時事 山崎ツリーナー

作品募集

投資あおり 詐欺グループは 百年安心臭いもの 蓋すりや中から 腐つてく
ニ000万 穴埋めにカジノを 作りま
厚労省 算数弱くて ニ000万不足
令和令和とはしゃぐ頭の中 昭和のまま
改元に令わせて 改憲したいアベ
改元で 一新すべきは アベ政治
美ら海に 悔い(抗)を残して なるものか

計報 元退職者会幹事の田村実さんは、6月16日に亡くなられました。現職時代は千代田区職労麹町保健所分会長を務められました。ご冥福をお祈りいたします。

脳トレ答 神奈川・静岡・石川・岡山・香川・福岡

私のふるさと—新潟県上越市直江津— —こどものころの忘れないエピソードなど—

新沢 久美子

1. 海

歩いて5分で日本海の砂浜。テトラポットの陰でみんなが水着に。海に入るまでが大変。ながーい、ながーい砂浜。足裏が異常に熱い。アチチ言いながら、やっとポチャン。

大きくて、高い飛び込み台があった。我も我もとびこむ男子。「くろんぼ大会」もあった。真っ黒に日焼けした体に赤いふんどの男子。懐かしいですなー。

2. 朝市

3と8のつく日に朝市がたつ。近郊の農家のおばちゃん達が朝採り野菜を並べる。中でも目立ったのは「義士饅頭屋」。つぶあんが入ったおまんじゅう。へげで包んでくれる。家で広げるとあつという間になくなった。

3. 祇園祭り

7月26日から29日まで。花火から始まり、お銭米で終わる。各町会の屋台が積んだ米俵を八坂神社に奉納するのがお銭米。祭り最大のハイライト。激しい太鼓の連打。鉦の音。屋台の上から花吹雪。

この祭りが終わると、直江津は静かすぎる日常に戻ります。

4. 食べ物など

なんといっても米でしょう。上京した時、米のまづさに閉口したものです。次は酒。父は晩酌に「能鷹」を飲んでいた。なかなかのネーミングです。

「継続だんご」は林芙美子の放浪記にでています。

失意の芙美子が時刻表を見て直江津に行く決心をする。忙しく働く人を見て元気がでて帰京する。次は塩するめ。焼いてからひっさばいて食べます。酒のつまみに最高。冬場は「野沢菜の粕汁」や「たら汁」。寒い朝の定番。「ヒメタケノコみそ汁」は関東では見かけない。

5. 親鸞

親鸞上人は京都から流罪の身になった。上陸したのは越後国府。つまり直江津です。ここで7年間、妻の恵信尼と暮らしたといわれている。著書に「海」という字がたくさんでてくるという。

親鸞もまた日本海を見続けていたということでしょうか。

心のふるさと 井上 たけ

私が何歳頃のことだったろう。その夜、空はきれいに晴れていた。潮鳴りが耳に心地よかった。水平線に大きな月が上がり、海は銀色に輝いていた。砂浜に目を落とせば、月見草の花が月の光に誘われて、ポッポッと小さな音を立てて咲いてゆく。さながら辺りは別世界。私は時を忘れて佇んでいた。

1945年3月10日、敗戦のために家を焼け出され、最初に落ち着いたのが外房州の海に面した小さな平屋だった。夏は下着1枚で荒海に遊び、恐さを知らない私が大波に巻かれ溺れかけた折、誰とも知らないおじさんがしつかり私を抱き上げて助けてくれた。その時の体の温かさを今でも忘れない。

春は濃い桃色のれんげ畑や土手に咲く真っ青な“おいぬのふぐり”の群落に感動し、秋は近所の遊び仲間と1里先の山へきのこ取りに出かけ、日の暮れた帰り道、置いていかれまいと必死で皆の後を追いかけた。冬の雪の日、友達仲間と一緒に学校をずる休みし、近くの小高い山の上から思いきり雪すべりを楽しんだ。次の日、先生に叱られ教室の後ろに立たされ坊主となった。どれも心に残る遠い心のふるさとだ。

そして現在、私の住む鎌ヶ谷市は憲法9条を守り、平和を希求する仲間達がたくさん居る。ここも私にとって大切で大好きな最後の“ふるさと”となることだろう。

